

保育の提供量(利用定員)に関する整備(実績)

令和5年度における保育所等の整備については、近年の就労形態の多様化に対応するため、幼稚園や保育所の認定こども園化を推進することにより、教育ニーズの強い児童の受け入れ体制の確保に努めました。待機児童が一定程度発生している一方、定員を充足しない既存園もある状況であることも鑑み、第3期和光市子ども・子育て支援事業計画の策定においては適正な規模の保育施設整備を検討していく。

	令和4年度 (4/1)					令和5年度 (4/1)					令和6年度 (4/1)				
	小規模 + 事業所内	保育所	認定こども園	新制度移行幼稚園	合 計	小規模 + 事業所内	保育所	認定こども園	新制度移行幼稚園	合 計	小規模 + 事業所内	保育所	認定こども園	新制度移行幼稚園	合 計
現行計画 施設数 (利用定員)	25 (518)	20 (1,717)	1 (2・3号:90)	—	46 (2,325)	25 (542)	19 (1,627)	2 (2・3号:120)	2	46 (2,289)	25 (542)	18 (1,537)	5 (2・3号:350)	0	48 (2,429)
実績 施設数 (利用定員)	25 (533)	19 (1,627)	1 (2・3号:90)	1	45 (2,250)	25 (542)	19 (1,627)	2 (2・3号:120)	2	46 (2,289)	25 (543)	18 (1,507)	4 (2・3号:270)	1	48 (2,320)
利用定員 計画比	102.9%	94.8%	100.0%	—	96.8%	100.0%	100.0%	100.0%	—	100.0%	100.2%	98.0%	77.1%	—	95.5%

【令和5年度整備等内容】

- ① 幼稚園型認定こども園への移行+1園(定員+60名)
- ② 保育所型認定こども園への移行+1園(定員±0名)
(ただし、幼稚園機能部分の定員は15名増加している)
- ③ 既存園の定員変更(合計:定員-29名)